

## 本校におけるインターンシップの取り組みについて

### 「Y専門学校：1 学年主任」

本校では「鍛え磨く」という校訓のもと、地域社会の発展に貢献できる人材の育成を目的として、全学科の学生を対象にインターンシップをカリキュラムの中に導入しております。インターンシップ期間は学科によって異なりますが、最も短い学科で年間5日以上、最も長い学科で年間15日以上の期間が設定されています。

本年度の夏は、Webビジネス学科、高度情報技術学科、ITエンジニア学科、国際ホテル・ブライダル学科の4学科の学生が山口県インターンシップ推進協議会のインターンシップ・プログラムに参加いたしました。

インターンシップ実施の目的はさまざまありますが、そのひとつに日頃学校で学んでいる知識、技術がどう実社会で活かされているかを確認することが挙げられます。学生たちは、ともすればその知識の習得、技術の向上を目的として日々の学校生活を過ごしがちです。しかし、より重要なのは学校で得た知識、技術をどうお客様に提供していくか、どう社会に貢献していくかです。こうした仕事の重要性や醍醐味を伝えることは学校現場だけでは不十分であり、これは私たち教員にとっても大変もどかしく、また学生たちにとっても大変もったいないことだと日々感じております。このような理由もありインターンシップはまさに学校での勉強と現場で求められるものを結びつける、非常に重要な機会となっております。

インターンシップの実施にあたり、各学科において事前指導を行っております。服装・礼儀・話し方などのビジネスマナーに加えて、事前訪問のアポイントメントの取り方や、提出書類の書き方、そして、インターンシップ先企業で何を学んでくるかという目標設定を指導しております。また、原則、学生たちには受け入れ企業にアポイントメントを取った上で企業を事前訪問してもらい、研修内容、就業時間、服装などの打ち合わせをするように指導しています。事前打ち合わせで確認したことを記入したチェックシートは、インターンシップ終了後に実習報告書と共の提出を義務付けています。また、学生たちが実習に行っている間、教員が必ず1度は実習先を訪問し、学生の様子を視察、そして企業様からご意見を伺う機会を設けております。インターンシップ終了後は報告会を行うことにより、自分たちが感じてきたこと、勉強してきたことなどをクラスの仲間に伝え、これからの勉学や実習の糧としております。

今後も社会に出て必要とされるものと学校での教育がミスマッチとならないよう、本校でも積極的にインターンシップを推進していきたいと思っております。

最後になりましたが、お忙しい中実習生を受け入れていただき、また懇切丁寧にご指導いただきました企業・団体等関係者の皆様、並びにインターンシップにご尽力いただきました山口県インターンシップ推進協議会の皆様に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。